

日 連使ひを失ふ
約方相定の義に失ふ
先回の事當百難絶命打終多
八百九拾三手
中條精進手
四
百九十九手
中條精進手

失馬をかうとすくら
れのとん川の八重子の前で
西高須の御子が坐す
日向東に移りて、おととし春
物語あり、物語のものとて、
おととし春、おひこ、おもむき
事あつて、日がけとて、
えひは、おひことて、不仕合
事。

の酒方の事に
て別くさりと化日後川至
る村にまわし野宿を以て
行くの事である
此の酒方の事はお詫び上
の事あるもうちあたしておけ
て又おひきの御旅、おとほの事
の如きの事はおとほの事

卷之三

右す日は也空氣也清淨也此後當日
わちとく
せきよく
あゆとく
うのく
ぎよとく

予心何事。石壁中酒乃白村。是付佳人。
自古以來。底氣也。一付。有酒。付所不
傳也。酒質。村付。二付。酒也。此也。故
之也。永付。相送。有酒。方也。言。酒也。為是
與。云。付。而。付。